

# 幸田町高校生 カンボジア派遣体験記

※今年度の募集概要は  
6ページをご覧ください！



【トラキエット小学校】  
シエムリアップ州にある小学校で、「友好に関する覚え書」の交流拠点。児童数は約434人。写真は運動会の綱引き



運動会前に円陣を組んで、気合注入！



運動会のかけっこ

平成29年度幸田町高校生カンボジア派遣事業が平成30年3月22日～28日に実施され、町内の高校生10人がカンボジア王国シエムリアップ州を訪問しました。

今回の派遣事業に参加した町内の高校生10人は、7月に行われた選考で選ばれ、夏から出発の日まで毎月打合せを重ね、シエムリアップ州にあるトラキエット小学校で開催する運動会の種目や文化交流会の内容について、自分たちで考え、実行しました。

運動会では、学年ごとに、徒競走、綱引き、しっぽ取りなどの競技を決め、難しい競技は前日に児童を集めて予行練習をしたことで、当日は大いに盛り上がりました。また文化交流会では、スポーツ交流班、音楽班、日本文化交流班に分かれ、ドッジボールやダンス、楽器演奏、お茶会、紙芝居で交流し、児童らとさらに仲良くなりました。

そのほかにも、トラキエット小学校5年生とアンコール・ワットなどを見

## 派遣事業の行程

	内容
3/22 (木)	朝、中部国際空港出発 現地時間の夜にシエムリアップ国際空港着
3/23 (金)	トラキエット小学校で翌日の運動会の準備 運動会種目の練習
3/24 (土)	トラキエット小学校で運動会を開催 文化交流会を実施
3/25 (日)	トラキエットの児童と修学旅行（アンコール・ワット、アンコール・トム、タプローム寺院） トンレサップ湖の水上生活見学
3/26 (月)	ワット・ポー小学校視察 現地日本語学校生徒との交流
3/27 (火)	市内見学など 現地時間の夜にシエムリアップ国際空港発
3/28 (水)	日本時間の朝に中部国際空港着

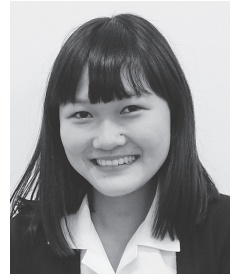
学する修学旅行、児童数約6千人の同州ワット・ポー小学校との交流、現地の日本語学校生徒との交流を行いました。

また、高校生の皆さんは、カンボジアの児童らにプレゼントする物資を集めるため、自分たちで町内の小中学校および幸田町高校などに協力を依頼し、収集から小分け、現地での配布まですべてを行ってくれました。

この特集では、シエムリアップ州と幸田町の交流をさらに深めた高校生10人に感想をお聞きしましたので、紹介します。



「カンボジア」と聞いて皆さんは何を思い浮かべますか？  
私は、派遣に行く前は、「貧しい国」だと思っていました。でも、実際に行ってみると、想像していたよりもきれいで子どもたちの笑顔があふれているすてきな国でした。しかし、物乞いをしている子どももいて、衝撃を受けました。同時に何もできず突き放すしかないという事実が心に痛みました。  
そんな両面を見たことで、自分の視野が広がり、私の中に新しい夢ができました。



しろた まいこ  
城田 優以子 さん  
(岡崎西高3年)



訪れる先々で、全力で楽しんでくれる子どもたちの笑顔に触れ、同時に心をえぐるような光景を目にすることもあった、とても濃い1週間でした。  
出発寸前まで、運動会の進め方などについて皆で悩み、リーダーとしての責任に苦しむこともありましたが、その日々があつてこそその派遣であり、周りの皆さまの支えもあつて、将来の糧になる貴重な経験ができました。  
もう一度訪れることができた時には、自分がカンボジアの子どもたちと胸を張って会えるよう、努力していきたいです。



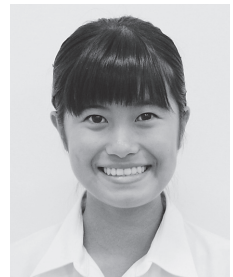
すずき なつこ  
鈴木 菜津子 さん  
(岡崎高3年)

### シエムリアップ州に贈った物資の数

種類	数
ランドセル	132個
バッグ類	337個
鍵盤ハーモニカなどの楽器類	135台
鉛筆・ペン類	4,327本
ノート・メモ帳	616冊
そのほか(文房具など)	1,226個

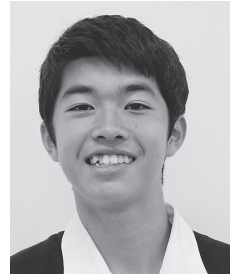


今回の派遣事業で私はカンボジアの子どもたちの温かさを感じました。  
特に印象に残っているのは、修学旅行です。ほかの交流とは違い、少人数で行動したので、同じ子どもたちと長い時間を過ごすことができました。言葉は通じませんが、目が合うとにっこり笑ってくれたり、手を振ってくれたりして、とてもうれしかったです。ほかにも、アイスや笛をくれるなど、本当に優しい子どもたちでした。  
この温かさを忘れず、大事にしていきたいと思います。



にわ まこと  
丹羽 麻琴 さん  
(岡崎北高3年)

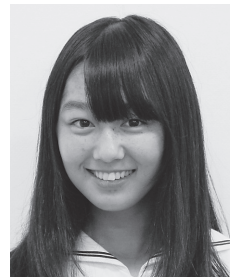
\*学年は現在のもの



いとう りょうすけ  
伊藤 涼介 さん  
(幸田高2年)

僕は今回のカンボジア派遣事業に参加して本当に良かったと思いました。現地では運動会を中心に交流し、子どもたちのまぶしい笑顔を見たとたん、これまでの準備の苦労や不安が全部吹き飛ばされ、自分も自然と笑顔になっていました。一方で、小さな子どもたちが物を売っている姿は印象的で、日本は恵まれていると感じました。蛇口をひねるときれいな水が出ることも、当たり前が当たり前でないことなど、当たり前が当たり前でないことを感じた瞬間でした。

あの日見た一つ一つの景色と思い出。それは、僕たちが自分の手でしっかり掴んできた宝物です。



いなよし あゆみ  
稲吉 歩美 さん  
(幸田高2年)

私がこの派遣事業に参加して一番印象的だったことは、カンボジアの子どもたちの笑顔です。カンボジアの子どもたちは、私たちに笑顔で手を振ってくれたり、うれしそうに笑いながら話しかけてくれたり、カメラを向けるとキラキラな笑顔でポーズをとってくれたりして、一人一人の笑顔がとても輝いていました。その笑顔に私は癒やされ、元気をもらいました。

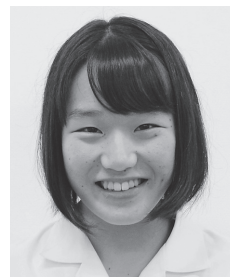
この事業に参加し、得たものはたくさんあるので、これからに活かしていきたいです。



いなよし  
稲吉 いあん さん  
(幸田高2年)

カンボジアへ行くことは楽しみでしたが、不安もかなりありました。しかし、現地に着くと不安は無くなり、楽しいことばかりで、たくさんの方の発見や、現地の人々のすてきな笑顔、運動会などが成功した達成感でも充実した1週間を過ごすことができました。

もちろんこれは、多くの人の支えのおかげです。支えてくださった皆さまへの感謝を忘れず、派遣実施までの約半年間で経験してきたことを大切にしていきたいです。



おおみ ゆか  
大参 由佳 さん  
(岡崎西高2年)

カンボジアでの1週間はゆつたりと時間が流れ、とても濃く充実した日々でした。

アンコール・ワットから見た朝日や、市内見学など、心に残っていることはたくさんありますが、やはり一番は「人」です。私たちが企画・運営した運動会や修学旅行で、輝く笑顔を見せてくれた子どもたち、生きるために路上で物を売り生活している幼い子どもたち、そして心温かいボランティアさん。今回の出会いで私はいろいろなことを学び、感じました。これからも「人」との出会いを大切にしていきたいと思えます。





私は文化交流会で紙芝居をしました。話の内容は通訳がないと難しい部分もありましたが、子どもたちがどんどん私に近づいてきて、真剣に見てくれてうれしく思いました。絵を見て笑ってくれたことや、運動会や修学旅行などで私が笑顔で子どもたちと接することで、どこか子どもたちと通じ合えていると感じました。

言葉の壁は大きくても、笑顔は人をつなぐ大きな架け橋になるということを実感しました。

俳句 ランドセル めがけて走る  
裸足の子



おおし あいか  
大橋 愛香 さん  
(幸田高2年)



カンボジアで過ごした日々は新しい発見と感動の連続でした。

運動会の競技の一つである「しっぽとり」では説明が難しく、皆と一緒に準備を重ねてきました。だからこそ、子どもたちのうれしそうな姿を見て、すごく達成感がありました。また、子どもたちが私たちの乗るバスまで手を出して物をいをしてきたことは衝撃的でした。あの切ない目、声は今でも忘れることはできません。

現地で自分の目で見てきたからこそ何かできることはないかと強く考えるようになりました。特別な時間をありがとうございました。



おかもと  
岡本 ひなの さん  
(光ヶ丘女子高2年)



今回の派遣を通して私が学んだことは、私たちの当たり前は、世界共通の当たり前ではない、ということ。当たり前のように学校で勉強したり、信号機があったり、携帯電話を使ったり、これらはカンボジアの子どもたちにとっては当たり前ではない、と肌で感じてきました。

私はいろいろと感じることができた幸せを噛み締め、多くの人にカンボジアのことを伝え、広めたいです。また、多くの人にも実際に現地へ行ってもらい、感じてほしいと思いました。



おきの さや  
荻野 紗綾 さん  
(岡崎北高2年)

ワット・ポー小学校から感謝状が届きました！

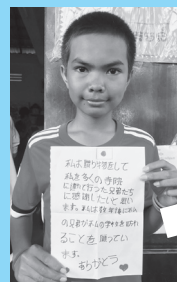


鍵盤ハーモニカなどの楽器類を贈ったワット・ポー小学校から感謝状が届きました。

感謝状 幸田ライオンズクラブ、幸田町の高校、そして日本の皆さま、楽器（鍵盤ハーモニカ94台）を私たちの学校に寄贈していただき、ありがとうございます。これらすべては、私たちが学校の発展に最善を尽くすための大きな励みになります。あなたとあなたの仲間のご多幸をお祈りいたします。敬具

ワット・ポー小学校校長 プン・キム・チェーン

カンボジアの小学生の感想もいただきました！



拡大

私は贈り物をして私を多くの寺院に連れて行った兄弟たちに感謝したいと思います。4年後に私の兄弟が私の学校を訪れることを願っています。

トラキエット小学校5年生  
カンニャンくん

上手な日本語で書いてくれました！

# 平成30年度カンボジア派遣事業に

## 参加する高校生を大募集！



- カンボジア王国：東南アジアのインドシナ半島の南部に位置し、タイ、ベトナム、ラオスと隣接する人口約1,500万人の国。首都はプノンペンで主要言語はクメール語。
- シェムリアップ州：国内にある24の州及び特別市のうちのひとつで、カンボジア西北部の人口約90万人の都市。世界文化遺産であるアンコール遺跡などがあり、同国を代表する観光地として年々目覚ましい発展を続けている。

### 事業の目的と内容について

今年度も引き続き、「幸田町高校生カンボジア派遣事業」を実施します。

本事業は、平成22年11月18日に幸田町が締結した「カンボジア王国シエムリアップ州との友好に関する覚え書」に基づき、幸田町高校生カンボジア派遣事業実行委員会（幸田ライオンズクラブ・幸田町国際交流協会・幸田町の3団体で組織）が実施するものです。多感な世代である高校生を同州に派遣し、文化や環境が違う中で自分たちが活動する内容を考えて実践していただきます。現地の様子を肌で感じ、体験をすることで、広い視野と豊かな国際感覚を持った人材を育成することを目的としています。

活動内容としては、トラキエット小学校の児童たち向けの運動会や文化交流会の企画・運営を高校生の皆さんにさせていただきます。そのほか、派遣先のシエムリアップ州の名所見学などもあります。

### 幸田町とカンボジアのつながり

平成17年の愛知万博における一市町村一國フレンドシップ事業で、本町はカンボジアのパートナーとなり、交流が始まる。平成20年には、カンボジアから5人の青年を町へ招き、交流や視察見学などを実施。また同年と平成22年にシエムリアップ州を公式訪問し、同州と友好に関する覚え書を締結。平成26年にソーラーランタンを贈るなどしながら、交流を継続。

町内団体では、幸田ライオンズクラブが平成21年にトラキエット小学校校舎を建設し、そこから毎年カンボジアを訪れ、同小学校の支援活動を実施。平成24年には同小学校に図書館を建設。また、マンゴーの木や町内の小・中学校、高校から集めた楽器や文房具などを寄贈。平成27年からは幸田高校生と一緒に同小学校を訪問するツアーを実施。

幸田町国際交流協会は、平成16年からカンボジアフレンドシップ旅行を開催。また、カンボジア理解講座や現地の人を町に招くプログラムなどを数多く実施。平成25年から4年間は愛知モリコ基金を活用し、CPC（カンボジアの就学前幼児の保育・知育を支援する）事業を実施。

本事業では3団体が協力し、さらなる交流を図っていきたく考えています。

## 対象・申込方法などについて

- 対 象** : 町内在住の高校生で、本事業の趣旨をよく理解でき、心身ともに健康で規則正しい団体生活ができる人、かつ保護者の理解を得られ、町などが行う国際交流事業に積極的に参加できる人。
- 人 数** : 10人程度
- 派遣時期** : 平成31年3月22日(金)～28日(木)(春休み期間の5泊7日)を予定
- 派遣先** : カンボジア王国シェムリアップ州
- 費用負担** : 5万円 ※ただし、保護者が生活保護を受けている、町民税が非課税または減免を受けている、児童扶養手当を受給しているなどの場合には個人負担はありません。(パスポート取得・任意保険加入については個人負担とします。)
- 申込方法** : 6月1日(金)から7月13日(金)までに、指定の申込用紙(保護者同意書欄の記載必須)に必要事項を記入いただき、下記申込み先へ提出してください。
- 申込用紙** : 役場、町民会館、町立図書館、町民プール、幸田駅、三ヶ根駅休憩所、相見駅のパンフレットスタンドにあります。また町ホームページからもダウンロードできます。
- 選考方法** : 申込書の内容を確認後、参加資格者を対象として7月末(24日、26日、27日の予定)に幸田中央公民館で面接を実施します。  
※日時などの詳細は申込者に個別連絡します。
- そのほか** : 8月から毎月2回程度、事前学習会および企画・準備ミーティングへの出席、また派遣後には、感想文の提出と各種報告会への出席をお願いします。
- 申 込 み** : 持参する場合は役場3階企画政策課(3番カウンター)にお持ちください。郵送の場合は、下記問合せ・郵送先に送付してください。\*当日消印有効。
- 問 合 せ 郵 送 先** : 〒444-0103 幸田町大字大草字長根尻125  
西尾信用金庫幸田北支店2階  
幸田町高校生カンボジア派遣事業実行委員会事務局(幸田ライオンズクラブ内)  
☎0564-63-0251(午前10時～午後3時。土日祝日を除く。)  
F A X 0564-63-0240 Eメール kotalc@sk.aitai.ne.jp

## たくさんの応募をお待ちしています！



問合せ 企画政策課政策情報グループ(内線331)

**事前説明会を開催します！**

応募してみようかなと思うけれど、少し不安…。子どもをぜひ参加させたいけれど、もう少し詳しい話を聞いてみたい。興味がある人は、まずはお気軽に事前説明会にご参加ください。

**と き** 7月7日(土) 午後6時～

**と ころ** 中央公民館 ホール

**申 込 み** 7月5日(木)までに、幸田町高校生カンボジア派遣事業実行委員会事務局にお電話でお申し込みください。(電話番号や開局日は上段枠に記載してあります。)